

## 豊富温泉の概要

### ●豊富温泉の歴史

豊富温泉は、大正14年より石油の試掘を行った際、偶然に翌年5月に地下約960mの地点より高圧の天然ガスと共に噴出したのが温泉のはじまり。昭和2年頃、草葺小屋を建て地元民が温泉として利用するようになり、まもなく川島旅館など8つの旅館が開業し、日本最北の温泉街ができてきました。

### ●泉質

ナトリウム-塩化物泉（弱アルカリ性高張性低温泉）とナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉（弱アルカリ性高張性高温泉）の2種類の泉質があり、いずれも濁濁し、井戸からは石油や天然ガスとともに湧出してくるため、わずかに油分を含んでいます。

一般に、弱アルカリ性で高張性の温泉は肌に優しく、温泉成分が体内に浸透しやすいと言われます。成分に多く含まれる重曹・ホウ素は皮膚を綺麗にし、殺菌効果が高いという特徴があります。豊富温泉の最大の特徴である油分は、保温保湿効果が高いとされ、アトピー性皮膚炎、乾癬に対しては、油分に含まれるターゲが抗炎症作用を発揮するのではないかと考えられています。

### ●効能

療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等  
**禁忌症** 急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

**適応症** 慢性皮膚病、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、病弱児童、慢性婦人病

町営日帰り入浴施設  
**豊富温泉 ふれあいセンター**

天塩郡豊富町字温泉  
 TEL.0162-82-1777

・日帰り入浴/  
 大人510円・子ども250円  
 ・営業時間/8:30~21:00  
 レストラン/11:00~14:00  
 16:00~20:00

※源泉を利用した湯治専用の浴場あり。



写真/豊富温泉総合案内所「コンシェルジュ・デスク」より  
 概要/豊富温泉 ミライノトウジ 参照



ナツカフェでは、オーガニックや地場の新鮮で健康的な食材を中心とした体に優しいメニューを提供。健康プチ講座、椅子ヨガ、足つぼ/ハンドマッサージ、アロマスプレーづくり、様々なライブなどを通じ湯治客と町民の交流も行われた。



もりあげ隊のチラシやのぼりなどのデザインは林さんが担当。温かな手づくり感と女性らしい柔らかな感性が光る。またアイデアにも富んでいる。

豊富温泉もりあげ隊 メンバー  
 ありが豆料理家  
**堂脇 さとみさん**  
 餅cafe & stay わが家 経営  
<http://tsunagu8wagaya.jimdo.com/>  
 親子でアトピー完治☆豊富温泉日記  
<http://ameblo.jp/satomatto/>



堂脇さんのわが家が集場所になることも。

多彩なイベント企画も目白押しでした。

依然としてアトピー性皮膚炎の患者は多く、その総数は人口の約1割、1,280万人との情報をNHKの番組「あさイチ」（2011年9月放送分）で見聞きました。かつての5人のメンバーがそうであったように、まだまだアトピーで苦しんでいる人、助けを求めている人、豊富温泉を知らない人がたくさんいることでしょう。豊富温泉もりあげ隊は、まだ見ぬその人たちに向けても情報発信を続け、自分達が笑顔を取り戻した元気な症例を紹介しながら、明日へ続く希望の光を届け続けます。

※温泉療法でアトピーが完治するわけではありません。改善にも個人差があります。

**いずれのメンバーも才能を開花**  
 代表はグラフィックデザイナーの林明日美さん（夫がアトピー性皮膚炎）。冲ヨガインストラクターの中島まなみさん。豊富温泉コンシェルジュ（案内人）の尾崎滋さん。元ジャズシンガーで現在NP〇法人で臨時職員を勤める西尾理起子さん。そしてカフェとシェアハウスを営営する堂脇さとみさん。林さん夫妻は広島県、中島さんは愛知県、尾崎さん・西尾さんは静岡県、堂脇さんは長男とともに旭川市から、それぞれ6年〜1年前に移住を果たした人たちで、一読で多芸な集団であることが判るでしょう。

### 大きな話題を呼んだ「ナツカフェ」

メンバーは、昨年、湯治客を対象としたアンケートを実施し、同時に可能な限り直接話を伺い「豊富温泉にあったらいいもの」を要望として発掘することからはじめました。その結果、最も多かったものが、ホットとお茶を飲みながら、ゆっくり本が読める場所として「豊富温泉にカフェがあったらいいな」を今夏スキー場のロッジで実現しました。「身体にやさしい・地産地消」をコンセプトにしたメニューを用意し、湯治客同士、さらに町民とのつながりの場をつくりました。カフェでは女性ならではの感性を活かした手づくり小物や雑貨、アクセサリー、タオル、缶バッジ、その他オリジナルグッズなどの販売、多彩なイベント企画も目白押しでした。



豊富温泉もりあげ隊 代表  
**林 明日美さん**  
 Web/グラフィックデザイナー  
 もみじデザイン主宰  
<http://www.momijid.com/>

同隊はその他にヨガ教室やハンドメイドマーケット「つなぐ市」を開催するなど、その外からの刺激を受け、町も改めて温泉の位置付けを見直すとともに定住促進の強化、あるいは地元の建設会社は湯治客向けのシェアハウスを建設するなど波及効果も出てきました。温泉をまん中に、たくさんの方が手をつなぐ、そんな温かくて新しいふるさとが生まれようとしているのかも知れません。

「こうなったらもう豊富町に住むしかない！」おそらく、そんな思いで5人はそれぞれに移住を決意したのでしよう。そうして豊富温泉での湯治によって改善し、生きる希望と笑顔を取り戻した5人が、今度は、豊富温泉もりあげ隊として温泉と町への感謝の気持ちとして「恩返し」をはじめたのです。

## 移住者たちの恩返し、はじまる 豊富温泉もりあげ隊



スキー場ロッジに開設された豊富温泉「ナツカフェ」  
 2015年7月1日～8月30日

豊富温泉もりあげ隊  
<http://moriagetai.jimdo.com/>  
 豊富温泉もりあげ隊 - Facebook  
<https://www.facebook.com/toyotomi.moriagetai/>

全国からアトピー性皮膚炎や乾癬の患者が多数訪れる、豊富温泉。湯治のため豊富町へ移り住んだ5人が、「温泉のお陰で元氣になった。何か恩返し出来るような活動がしたい」「豊富温泉にあったらいいなをかたちにしよう」を合言葉に、豊富温泉もりあげ隊を結成。今夏はスキー場ロッジを利用して恩返しの第一弾「ナツカフェ」をロングラン開催し、湯治客と町民、地域を明るく笑顔でつなぎました。

